

登録コード	ASL00500	開講年度	2026					
授業科目	植物資源生産学特論Ⅰ				担当教員	松島 憲一		
英文授業名	Advanced Lecture in Plant ScienceⅠ				副担当	根本 和洋・鈴木 香奈子・阿久津 雅子・大迫 祐太郎・近藤 文哉		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限		対象学生	1年次生
講義室	農学部11番講義室		授業形態	講義	備考			
信大コンピテンシー 該当								
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2026ASカリ，2025ASカリ，2024ASカリ，2023ASカリ							
	【2025年度以降のカリキュラム対象】【専攻】国際性と地域性に根差し，環境と調和した持続的生産に関わる知識と技術を修得している。				⇔	植物遺伝育種学に関する専門的な研究の動向を把握し，自分自身の研究の計画を策定できる。		
授業の概要	講義形式で行います（一部演習形式も含む）。また、ディスカッションやプレゼンテーションによる週もあります。これら多彩な授業形式を通じて、各種作物の生産に関わる専門知識を受け身の授業だけでなく、主体的に学び、各自の研究課題を持続的農業生産体系の確立という命題の中でどのように意義づけるのかについての認識を深めます。							
Contents:	This lecture will be given in part in a seminar style, discussion among participants and presentation by students. Through these various styles of lessons, students will learn specialized knowledge of the production system of various crops so that they can make the significance of sustainable agricultural production system. Students are also instructed to acquire abilities related to the diploma policy.							
授業計画	第1回：作物の育種（担当 松島憲一） 第2回：野菜の育種（担当 松島憲一） 第3回：果樹の育種（担当 松島憲一） 第4回：遺伝資源の探索収集（担当 根本和洋） 第5回：遺伝資源の保全（担当 根本和洋） 第6回：遺伝資源の活用（担当 根本和洋） 第7回：作物栽培と土壌（担当 鈴木香奈子） 第8回：野菜栽培と土壌（担当 鈴木香奈子） 第9回：異なる環境条件と土壌（担当 鈴木香奈子） 第10回：果樹の種類と品種（担当 大迫祐太郎） 第11回：果樹の生理・生態（担当 大迫祐太郎） 第12回：果樹の品質評価（担当 大迫祐太郎） 第13回：野菜の種類と品種（担当 阿久津雅子） 第14回：野菜の生理・生態（担当 阿久津雅子） 第15回：野菜の・アンケート回答（担当 阿久津雅子）							
成績評価の方法	毎回行う小テストにより総合して評価します。							
成績評価の基準	成績の評価基準は、不可:授業の達成目標水準より下にある（0-59），可：授業の達成目標水準にある（例題と同レベルの問題が解ける）（60-69），良：授業の達成目標水準よりやや上にある（応用問題が解ける）（70-79），優：授業の達成目標水準よりかなり上にある（やや難しい応用問題が解ける）（80-89），秀：授業の達成目標水準からみて卓越している（授業で示した問題からは難しい応用問題が解ける）（90-100）とします。							
事前事後学習の内容	事前・事後ともに各分野に関連する専門書で学習して下さい。実際の作物生産の場に出かけて講義内容を確認することをお勧めします。							
履修上の注意	毎回レポートが課せられますので、授業の説明をよく聞き、配付資料等をよく読んで回答して下さい。							
質問,相談への対応	随時担当教員に相談するか、E-mail等で適時応じます。							
学生へのメッセージ	生態学、植物生理学、育種学、作物学、栽培学、蔬菜園芸学、果樹園芸学、植物バイオテクノロジーなどに関する知識が必要です。							
【教科書】	特になし。必要な資料は担当教員が配布します。							
【参考書】	特になし。適宜、各回の担当教員から紹介されます。							